

社団法人 日本船舶海洋工学会  
平成19年度(第111期)事業計画  
(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

**本部事業**

**【1】 論文集・会誌の発行**

1. 論文集第5号(平成19年6月)および6号(平成19年12月)
2. 会誌第12号～第17号(平成19年5月～平成20年3月の隔月)
3. 国際英文論文集 Journal of Marine Science and Technology 第12巻第2号～第13巻第1号

**【2】 創立110周年記念行事,総会・講演会**

1. 創立110周年記念式典(平成19年5月24日東京)
2. 平成19年度通常総会(平成19年5月24日東京)
3. 平成19年度春季講演会(平成19年5月24,25日東京)
4. 平成19年度秋季臨時総会(平成19年11月12日関西)

**【3】 委員会の活動**

1. 理事会  
年8回開催する。
2. 研究企画委員会  
日本船舶海洋工学会における研究委員会活動の総括的な企画および運営を行う。また,分野研究企画部会においてそれぞれの分野の研究活動の企画運営を行う。
3. 論文審査委員会  
論文集第5号および第6号掲載論文の審査と編集を行なう。また,平成19年度日本船舶海洋工学会賞および日本船舶海洋工学会奨励賞(乾賞)授賞論文の審査を行う。
4. 国際英文論文集(JMST)編集委員会  
国際英文論文集(JMST) 第12巻第2号～第13巻第1号に掲載する論文の審査及び編集を行う。
5. 発明考案等審査委員会  
平成19年度日本船舶海洋工学会賞(発明考案等)授賞候補の審査を行う。
6. 船舶海洋技術賞(吉識賞)選考委員会  
平成19年度船舶海洋技術賞授賞候補の選考を行う。
7. Ship of the Year選考委員会  
Ship of the Year 2006の選考を行うと共に,Ship of the Year2007の募集を開始する。
8. 会誌編集委員会  
年間6回発行の会誌の編集を行う。
9. 国際企画委員会  
国際学術協力部会および国際基準部会を開催し,若手研究者・技術者の海外派遣を含め,【5】に記載の国際学術協力事業の実施・推進を図る。
10. 情報管理委員会  
日本船舶海洋工学会の電子情報発信母体として,会員および国内外に向け学会情報の発信の推進と情報の管理を行う。
11. 出版委員会の設置  
船舶海洋技術者向けの出版物を企画する出版委員会を新たに設置する。

**【4】 研究委員会活動**

1. 研究企画委員会の開催
2. 分野研究企画部会の開催
3. 研究委員会の実施
  - 1) プロジェクト研究委員会
    - ・ 水上船舶の潜水避航実現可能性に関する研究委員会
    - ・ 鋼船工作法改訂研究委員会
    - ・ 海洋の大規模利用に対する包括的環境影響評価研究委員会
    - ・ 海中技術研究委員会委員会
    - ・ 大規模海上浮体施設の構造信頼性および設計基準研究委員会
    - ・ 自律型無人ボート研究委員会
    - ・ DPS 研究プロジェクト委員会
    - ・ 船体機関室周辺の狭隘タンク振動設計指針策定委員会
    - ・ 居住区防火防熱設計研究委員会
    - ・ 東アジア海洋環境モデル研究委員会
    - ・ マルチハル船のフィジビリティ検討委員会
    - ・ 海洋におけるプラットフォーム技術検討委員会
    - ・ 船体艤装工事の技能伝承研究委員会
    - ・ 塗装品質と船殻工作品質の関係に関する研究委員会
  - 2) ストラテジー研究委員会
    - ・ IMO 復原性基準の機能要件化のための転覆リスク評価法研究委員会
    - ・ 船体構造国際標準規則研究委員会
    - ・ 海洋教育ストラテジー研究委員会
    - ・ 研究ストラテジー研究委員会
4. JTTCの開催
5. JSSCの開催
6. 各研究会への支援
7. シンポジウムの開催支援
8. 「夏の学校」事業の推進
9. 一般市民向け講演会の開催

**【5】 国際事業**

1. 国際学術協力を係わる海外派遣  
国際的な視野を持つ優れた若手研究者・技術者の育成と強化のため海外派遣を行う。
2. Journal of Marine Science and Technologyの発行  
(前記【3】-4)
3. 海事関連学会との連携
  - ・ 2007年9月大阪にてRINAとの共催シンポジウム「Coatings and Fabrications」を開催する。
  - ・ 第3回PAAMES(Pan-Asian Association of Maritime Engineering Societies)常任委員会を開催する。
4. 国際規則・基準策定への貢献  
IMO復原性基準の機能要件のための転覆リスク評価法研究委員会の成果発表会を開催する。
5. 国際会議への貢献
  - ・ 2008年9月福岡にて開催予定の第25期国際試験水槽会議(ITTC)の組織委員会および実行委員会を開催する。
  - ・ ISSC(International Ship and Offshore Structure

Congress)等の国際学術会議への対応を行う。

#### 【6】特別事業

1. 創立110周年記念事業  
・2007年5月24日,東京にて創立110周年記念式典および祝賀パーティ等を開催する。
2. 国際化推進事業  
・(前記【5】-3,4,5)
3. 広報事業  
・船,海に係わる啓蒙書を発行する。

#### 【7】表彰

1. 優秀な研究論文に対する論文賞ならびに奨励賞(乾賞)を授与する。
2. 優れた発明,開発,著作等に学会賞を授与する。
3. 船舶海洋技術の発展に顕著な貢献のあった者に船舶海洋技術賞(吉識賞)を授与する。
4. Ship of the Year 2006 を授賞する。授賞式を平成19年7月20日海の日旬間に合わせ,日本マリンエンジニアリング学会のMarine Engineering of The Yearの授賞と合同で開催する。
5. 奨学褒賞を船舶海洋系大学および商船高等専門学校の優秀卒業者に授与する。

#### 【8】共催・協賛関係

各種のシンポジウム・講演会等の共催および協賛を行う。

#### 【9】助成金・補助金による事業

1. 日本財団の助成金による事業
  - 1) 国際学術協力に係わる海外派遣(前記【5】-1)
  - 2) 造船学術の振興(日本船舶海洋工学会論文集の刊行(前記【1】-1))
2. 文部科学省科学研究費補助金による事業
  - 1) 青少年を対象とした「おもしろ船教室,船・海の不思議と体験乗船」の開催

#### 【10】技術者支援事業

「日本船舶海洋工学会能力開発センター」を発足させ,下記の支援活動を行う

- (1) 技術者資格取得支援
- (2) 技術者継続教育(CPD)支援
- (3) 船舶海洋系大学プログラムのJABEE認定取得支援  
特に日本マリンエンジニアリング学会,機械関連学協会および関係業界団体と連携してCPDシステムの充実を図る。

#### 支部事業

##### <1> 東部支部事業計画

1. 講演会の開催
  - (1) 平成19年度秋季講演会を開催する。(平成19年11月関東地区)
  - (2) 平成19年度秋季講演会講演論文集を発行する(平成19年11月)
2. 総会の開催

- (1) 第3期(平成19年度)支部通常総会を開催する。(平成19年5月東京)
  - (2) 第3期(平成19年度)支部臨時総会を必要に応じて開催する。(平成19年11月)
3. 委員会の開催
    - (1) 東部支部運営委員会  
年間4回開催し,支部運営に関する事項を審議,決定する。
    - (2) 東部支部会務委員会  
支部長を補佐し,支部運営に係る総務,会員対応,財務に関する事項を協議し,隔月に開催する。
    - (3) 東部支部講演会運営委員会  
秋季開催の東部支部講演会を実施するとともに講演内容(オーガナイズセッション,一般講演等)の企画を行う。また,講演論文集を発行する。
    - (4) 東部支部電子情報委員会  
メールニュースの発行及び会員間の情報システム管理を行う。
  4. 支部研究会の開催
    - (1) 東部構造研究交流会  
支部内の構造設計技術者・研究者の産学研究交流を促進するため「東部支部構造研究交流会」を数回開催する。
  5. シンポジウム・講習会等の開催
    - (1) 創立110周年記念事業を主担当する(平成19年5月24日:東京)。
    - (2) 産官学連携フォーラムを年数回程度開催する。
    - (3) 春季講演会にて会員懇親会を開催する。
  6. 会員への情報提供および広報活動
    - (1) メールニュースを発行する。
    - (2) ホームページを通じて会員への情報提供を行う。
    - (3) 中学,高校生を含む一般市民を対象としたホームページを開設する。
    - (4) 技術情報の電子化を行う。
    - (5) 青少年向けの出前講座を行う。
  7. 文部科学省の補助金による事業  
小中学生を対象として,平成19年8月横浜にて「おもしろ船教室」を開催する。
  8. 若手活性化事業  
秋季講演会の発表論文から若手優秀講演賞を授与する。

##### <2> 関西支部事業計画

1. 講演会の開催
  1. 平成19年度秋季講演会を開催する。(平成19年11月12-13日大阪大学コンベンションセンター)
2. 総会の開催
  - (1) 第3期(平成19年度)関西支部通常総会を開催する。(平成19年5月18日三菱重工(株)神戸造船所)
3. 委員会の開催
  - (1) 関西支部商議員会  
支部運営に関する重要事項を審議決定する。(年間2回開催)
  - (2) 関西支部運営委員会  
支部運営に関する事項を審議決定する。(年間7回開催)
  - (3) 関西支部会務委員会

支部長を補佐し，支部運営の総務，会員対応などに関する事項を実施する．

- (4) 関西支部情報システム委員会  
関西支部の会計プログラム等の管理および支部ホームページやメーリングリストなどの情報サービスの運営・管理を行う．
  - (5) 関西支部研究運営委員会  
本部の研究企画委員会，分野別研究部会と連携して，支部における研究活動に関連する事項について審議し，シンポジウム，セミナーなどを実施する．また，支部研究会などを所掌する．
  - (6) 編集委員会関西地区会合  
関西地区における編集委員の会合を実施する．
  - (7) 関西シニアクラブ（Kシニア）  
シニアの会員による交流会，講演会，調査研究等を実施する．
  - (8) 「船：引合から解船まで」出版委員会（細則第12条による）  
「船：引合から解船まで」の出版に関する会合を実施する．
4. 支部研究会
    - (1) 関西船舶海洋流体力学研究会（KFR）  
船舶海洋流体力学に関する研究会を実施する．
    - (2) KSSG  
船舶構造・強度に関する研究会を実施する．
  5. シンポジウム・新年特別講演会・交流会
    - (1) シンポジウムを開催する．（年間2回開催）
    - (2) 新年特別講演会を開催する．
    - (3) 会員交流会を開催する．
  6. 技術者教育  
本部の技術者支援委員会に委員を派遣する．
  7. 広報活動
    - (1) 支部ホームページによる広報活動を実施する．
    - (2) メールニュースによる広報活動を実施する．
  8. 青少年啓蒙活動  
「海の日」に関する事業への支援を実施する．（大阪大学，大阪府立大学，神戸大学，海技大学校で実施予定）
  9. 見学会・家族会
    - (1) 見学会，家族会を実施する．（年間3～4回開催）
  10. 社会貢献活動  
ボランティア活動（海岸清掃）を実施する．
  11. 会員拡大活動  
上記の5および9などを通じて，会員拡大活動を実施する．

### <3> 西部支部事業計画

1. 講演会の開催
  - (1) 平成19年度西部支部秋季講演会を開催する．（平成19年11月15-16日）
2. 総会の開催
  - (1) 平成19年度西部支部通常総会を開催する．（平成19年5月）
3. 委員会の開催
  - (1) 西部支部運営委員会  
年間4回開催し，支部運営に関する事項を審議決定する．
  - (2) 西部支部会務委員会  
担当会務委員が必要に応じ，支部運営の庶務・会計・講演会などの協議を行なう．
  - (3) 西部支部講演会運営委員会  
秋季に開催する西部支部講演会，春季に開催する本部講演会への準備支援のため必要に応じ開催する．
  - (4) 西部支部広報編集委員会  
学会誌「KANRIN」編集への対応，支部内広報活動のため，必要に応じ開催する．
  - (5) 西部支部電子情報委員会  
電子情報関係につき本部及び支部内で必要な対応を行うため開催する．
4. 西部支部研究会の開催
  - (1) 西部支部性能研究会  
西部支部内の性能関係技術者・研究者の産学研究会を開催する．  
シンポジウム，講習会を開催する．
  - (2) 西部支部構造研究会  
西部支部内の構造関係技術者・研究者に産学研究会を開催する．  
シンポジウム，講習会を開催する
5. シンポジウム・講演会・講習会・見学会・懇親会
  - (1) 運営委員会，性能研究会，構造研究会などが企画し，シンポジウム・講演会・講習会・見学会・懇親会などを開催する．
6. 文部科学省の補助金による事業  
青少年を対象として，平成19年夏期長崎市にて「おもしろ船教室」を開催する．
7. 広報活動など
  - (1) 西部支部メンバーへのメールマガジンの発行
  - (2) 西部支部ホームページの保守．
  - (3) 会員拡大活動，若年技術者活性化事業
  - (4) 青少年・地域への広報活動  
青少年・地域への広報活動は，広島地区，福岡地区，長崎・有明地区の3地区を巡回するよう企画する．